

議会からのたより



発行：遠別町議会

編集：議会報発行特別委員会

議会の主な動き (令和元年8月1日～10月31日)

8月19日
戦没者・功労者追悼式に議長外議員8名出席

8月19～20日
全道議会広報研修会出席のため議員2名札幌市に出張

8月23日
第4回議会全員協議会開催

8月24日
東京遠別会との交流会に議長外議員7名出席

8月27日
留萌管内町村議会議員研修会出席のため議長外議員8名天塩町に出張

9月7日
陸上自衛隊留萌駐屯地及び稚内地域事務所との親睦パークゴルフ大会に議長出席

9月11日
総務産業・文教厚生常任委員会合同開催

9月12日
遠別町敬老会に議長外議員6名出席

9月13日
総務産業・文教厚生常任委員会合同町内所管事務調査を実施

10月2～4日
総務産業・文教厚生常任委員会合同道内所管事務調査のため、議長及び各委員7名、奈井江町、厚真町、雨竜町に出張

10月7日
第3回議会報発行特別委員会開催

10月29日
第4回議会報発行特別委員会開催

第6回定例会

9月9日から13日まで5日間を会期として開催し、報告3件のほか、同意1件、功労表彰者の推薦1件、条例の制定・一部改正5件、補正予算4件、指定管理者の指定1件、各会計歳入歳出決算認定7件、意見案1件、発議1件の合計24件の議案が提案され、原案通り可決し、会期を2日残して閉会した。一般質問は山本議員、白井議員の2名が行った。

報告

- ◆平成30年度健全化判断比率の報告
- ◆平成30年度資金不足比率の報告
- ◆教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書(平成30年度対象)

主な審議事項

- ◆教育委員会委員の任命
・山本大樹氏(本町4)が議会の同意を受け、再任された。
- ◆功労表彰の被表彰者推薦
・千葉光悦氏(本町5)が議会の議決を受け、推薦決定された。

条例改正等

- ◆第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定
- ◆第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の制定
- ◆災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正



10/29 撮影

- ◆就学前の子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例の一部改正
- ◆道の駅えんべつ富士見設置及び管理条例の制定

- ◆指定管理者の指定
道の駅えんべつ富士見
指定管理者
シダックス大新東
ヒューマンサービス株式会社

主な補正予算

【一般会計】

- 退職手当組合事前納付金清算負担金 3,304万9千円新規
- 保育システム改修業務委託料 508万2千円新規
- 農業経営高度化促進事業負担金 1,293万円新規
- 町道除排雪業務委託料 1,848万6千円増
- 学校給食センター油脂分離槽改修工事 290万円新規

【簡易水道特別会計】

- 道道名寄遠別線奥島橋橋梁添架実施設業務 1,200万円新規

意見案

◆地域医療を守る医師確保のための意見書

提出者 木村議員
賛成者 山本議員、白井議員

意見案は9月11日の議会定例会で採択され、関係機関に送付した。



町長からの行政報告（抜粋） 第6回定例会



キャツスルガー市 訪問を終えて

―末永く交流を―

8月8日から15日までの8日間、姉妹都市でありますカナダブリティッシュコロンビア州キャツスルガー市を訪問し、ブルーノ・タツソーニ新市長との対談・交流を行いました。この対談ではタツソーニ市長から、「当初、私の発言に誤解があったかもしれないが、これまで築き上げてきた30年間の姉妹都市交流、青少年相互交流を今後も継続していきたい。」とのお声をいただき、とても友好的な対談となりました。

滞在中は、タツソーニ市長とともに屋外彫刻展示会であるスカルプチャーウォークやセルカーク大学、キャツスルガー市

消防署などを訪れ、市主催の夕食会では、チャーノフ前市長やムーア元市長を始めとする交流事業関係者との対話や食事を楽しみ、さらに親睦を深めることができました。また、遠別町青少年訪問団とともに8日間過ぎまして、地元中学生の生の声を聞くこともできました。

終わりに今後も友好な姉妹都市交流・青少年相互交流を進めるために、タツソーニ市長や市・交流事業関係者には、是非、遠別町に訪れていただきたく、来年以降、早い段階でご招待をしたいと考えております。



議員出席状況

令和元年8月1日～令和元年10月31日

区分 議員名	定例会・臨時会			常任委員会等			特別委員会			合計		出席率 (%) ⑥/⑤			
	出席内容			欠席内容			出席内容			欠席内容					
	開催日数 ①	出席内容		開催日数 ③	出席内容		開催日数 ③	出席内容		開催日数合計 ①+③ ⑤	欠席内容				
		全日出席	遅刻 早退		出席日数計 ②	慶弔 病欠 その他		全日出席	遅刻 早退		出席日数計 ④		慶弔 病欠 その他	出席日数合計 ②+④ ⑥	欠席日数合計 ③+⑤ ⑦
西畑 広男	3	3		3			5	5		5			8	8	100.0%
小森 嘉孝	3	3		3			7	7		7			10	10	100.0%
白井 金治	3	3		3			6	6		6			9	9	100.0%
柏谷 美春	3	3		3			5	5		5			8	8	100.0%
木村 秀雄	3	3		3			4	4		4			7	7	100.0%
千葉 光悦	3	2		2		1	4	4		4			7	6	85.7%
大石 幸夫	3	3		3			4	4		4			7	7	100.0%
山下 悟	3	3		3			6	6		6			9	9	100.0%
山本 仁美	3	3		3			5	5		5			8	8	100.0%

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は**12月中旬**の開催予定です。

【お問い合わせ】
議会事務局
電話 7-2147 (直通)
メール gikai@town.embetsu.hokkaido.jp

えんべんのパンが聞きたい

第6回定例会「一般質問」



遠別町の道路は丁寧な除雪がなされており、町民の生活、安全確保を第一に朝早くから作業していただき、その苦勞に敬意を表するものである。ただ、玄関先の除雪が終わった後に除雪車による置き雪の除雪をしなればならないとか、排雪までの間の捨て場所に困るとい話しを聞く。また、高齢等により、高齢者事業団に除雪を依頼している方も多く、大変ありがたいという声も聞くが、高齢者事業団の方々も年々、高齢化が進んできていると聞いている。そこで町長に2点質問する。

1 町有地の雪捨て場としての提供

Q【山本議員】 空き地になっている町有地を一定のルールを決め雪捨て場とすることはできないか。

A【笹川町長】 空き地となっている町有地もあるが、一定のルールを決めたとしても、雪の堆積による近隣住民及び交通への影響、融雪後のごみ処理の問題、近隣の方しか利用できず、公平性に欠けることなどから、現在、町有地を雪捨て場として開放する考えはない。富士見の雪捨て場を開放しているので継続して利用していただきたい。

2 高齢者事業団による除雪サービス事業

Q【山本議員】 継続して高齢者事業団による除雪サービスは可能なのか。また、継続できなくなった場合の対策は検討しているのか。

A【笹川町長】 現在は可能な状況だが、新規会員募集に努めていただき、協議連携しながら事業を継続していきたい。高齢者事業団ができなくなった場合の対策については、民間事業者の活用を視野に入れながら、事業の継続を検討していく。



長時間にわたる断水時の酪農業への給配水は？

Q【白井議員】 全国各地で自然災害が多発しており、災害から生命や財産をどう守るか、日頃から考え、万全に準備しておくことが大切である。町内で24戸が酪農・畜産業を営んでおり、「農業機械メーカー調べ」では乳牛80頭規模での機材洗浄水は一日4トン必要とされている。産業動物生命維持のため、水は一日も欠かすことはできない。そこで長時間にわたる断水時に酪農・畜産業へどのような給配水対応を検討しているか伺う。



A【笹川町長】 本町における簡易水道は、断水すると町民の生活に多大な影響が生じる。漏水事故などの対応については早期復旧に努めており、事故が発生した際には復旧行程の確認作業を行いなが

ら、一般世帯、旅館業、飲食業、酪農業へポリタンクによる水の供給体制を整えている。給水量が多い場合は遠別消防署との連携により給水を行っている。しかしながら現状として、酪農業など多量に水道水を使用する施設については貯水環境が十分整っていない状況であり、断水対策として、JAオロロン、酪農・畜産業の方々が協議し、貯留タンクを常設するなどの整備体制を強化していただくことにより、円滑な給配水は可能であると考えている。



再質問

Q【白井議員】 貯留タンクの設置について、行政としてどのように関わっていくのか。

A【笹川町長】 酪農・畜産業者とJAオロロンが協議し、どういった方向で、自分達がどこまでできるか、行政に何を望むのか協議していただきたい。

平成30年度各会計
決算審査特別委員会
9月10日

一般会計(歳出)

総務費

単身者交流イベントの
今後の展望は?

Q【小森委員】 長年、やってきて、発展にはつながらなかったというのだが、形を変え、管内的にもそういうイベントを望んでいる方々もいるようである。出会いの場の提供を、改めた形で考えていくべきではないかと思うが、その辺の見解は?

A【橋本総務課長】 商工会、漁協、農協の青年部で連携会議が立ち上がっている。管内的にもそういう横のつながり等、連携しながら、同一地域ではなくて、管内的にそういう婚活イベントができないかということと連携を取りながら、進めていきたい。

農林水産業費

土地所有者への情報提供は?

Q【小森委員】 森林管理システムの導入業務について、GISシステムを導入し、森林台帳の情報提供・共有ということだが、町内全部の山林所有者、面積を

把握できるのか。また、情報を土地所有者に提供する方法は?

A【小森経済課長】 町内に有する山林について、すべてデータ化されている。その情報について、土地所有者から要望があれば、印刷をして提供する形になる。

商工費

最北の水田の看板
リニューアルの効果は?

Q【小森委員】 日本水稲北限地PR看板設置を、国道と清川線の入口に設置された。日本最北の水田の看板も新しくなっているが、来訪者の状況はどうか。

A【小森経済課長】 来訪者の人数はおさえてはいないが、地先の方のお話としては、ライダー等が多く来ていると聞いている。各種イベントで案内をし、PRに努めている。



教育費

合宿のふるさと事業
4団体82名利用

Q【小森委員】 合宿のふるさと事業補助金の中で、合宿団体の合計は4団体82名ということ、この宿泊の関係はすべて、この町内で賄われていたのか。

A【瀧川教育次長】 合宿のふるさと事業の要綱の中で町内の宿泊施設を利用するということが条件になっているので、すべての団体が町内の宿泊施設を利用している。

一般会計(歳入)

使用料に時効は無いのでは?

Q【柏谷委員】 使用料及び手数料の中の土木使用料で、不納欠損額、9万2,870円となっている。使用料については、不能欠損は無いと思っていたが、これはどういう理由で不能欠損になったのか。

A【坂川建設課長】 この不納欠損は公営住宅使用料で、民法の第145条の中に、時効の援用というものが、本人からその援用の届出があった場合、時効が成立するというので、今回9万2,870円を不納欠損したということである。

簡易水道特別会計

遠別川の水が少ない時

Q【小森委員】 簡易水道基盤近代化事業の関係で内容として、いろんな設備の更新をしていると思うが、今年の春先から、遠別川の水が少なくなっており、昔と違って、水質的な問題がちょっと気になってきている部分もあるが、今回の更新は、水量に応じた、ろ過、制御設備の更新というふうを考えてよいか。

A【坂川建設課長】 今回、更新している機械については、耐用年数の経過とか、そういったもので機械が老朽化しているの、補助事業によって、更新しており、水質とか、そういったものの影響で機械を更新しているわけではない。



Q【小森委員】 遠別の水はおいしいという話しも聞くが、遠別川の水量が不足している時期は水質が落ちてきているのではという話しも聞く。今後、そのような時の対応を検討されているか。

A【坂川建設課長】 確かに雪の量も少なかったことから7月、8月ぐらいに、かなりの水量が減った。水量が少なくなると、どうしても水の流れが無いことから、水質の悪化が懸念される。その辺に関して、状況を見ながら、薬品の量を調整し、できるだけ水質を維持することに心掛けていく。



国保病院事業会計

人口減と一診体制が要因

Q【木村委員】 病院事業収益が、予算額に比べ、決算額が減っている理由は？

A【齊藤病院事務長】 入院収益については、入院患者の減で、毎年、少しずつ減少している。人口減等が要因として考えられる。外来収益については、昨年、副院長が7月で退職しており、8月以降について、院長の一診体制のみとなったことから、外来患者の減少が主な要因と考えられる。

町長からの行政報告（抜粋） 第7回臨時会

旭温泉について
—じゃらんが高評価—

旅行雑誌北海道じゃらん10月号に掲載されました宿泊満足度ランキングにおいて、旭温泉が道内約250宿の内、総合評価90点で第30位に入賞しました。なお、道北地方においても、2位に位置している状況であります。

その中で、総合評価85点以上の宿が対象となる、名湯大賞風呂の部においては、98・9点を獲得しまして、道内でもトップクラスとなり、評価のポイントとして「富士見の湯はヌルヌルとした肌触りで美肌効果が期待でき、旭の湯は塩気があり湯冷めしにくい」と評価を多数いただいていることから「赤茶と黒の2種の源泉に浸れるで賞」をいただきました。大変名誉で喜ばしいことでもあります。なお、掲載された内容については、庁舎1階ロビーに掲示しております。

また、宿泊者についても、4月から8月現在までは前年度対比で105名増の1,359名となっており、増加傾向となっている状況であります。旭温泉は海沿いから6km、山間部に位置して



いることから、「秘湯を感じ、外観と改築された浴場のギャップと、2種類の源泉に驚いた」との声を良く聞くところであります。建築から40年を過ぎている施設についても、引き続き、適切な管理・補修を行いながら、安定した温泉運営に努めて行きたいと考えておりますので、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

温泉総選挙についても昨年度、リフレッシュ部門で全国第4位に入賞したところであり、宿泊者の口コミ、さらにはSNSでの情報発信等によ

第7回臨時会

10月10日に開催し、条例の一部改正1件、補正1件の議案が提案され、原案通り可決した。

条例改正

◆遠別町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

主な補正予算

【一般会計】
・遠別農業高等学校活性化（未来を担う人材育成施設建設）推進事業補助金

7,400万円新規

全国大会出場 遠別イーグルス激励

8月2日、西畑議長、木村議員（議員会会長）が8月6日から東京都近郊で開催される第39回全日本バレーボール小学生大会全国大会に出場する遠別イーグルスの選手達を激励した。



留萌管内町村議会議員研修会

8月27日、天塩町において「スマート農業の今後の展望」と題して、農林水産省大臣官房政策課技術政策室室長松本 賢英 氏の講演で農業の競争力強化には「スマート農業」の開発と実装は世界的潮流であり、GPS利用の自動走行トラクターやドローン、そしてAI（人工知能）を活用した各種ロボットの導入に待ったなしの状況である。生産性向上に「スマート農業」は必要不可欠であり、若者に魅力的な新しい形の農業の実現を目標としていると講演された。議員から、管内の一次産業において「スマート農業」の取り組みは、今まで以上のスピード感を持って、実現を進めるべきとの強い意見が出た。



シリーズ えんべつ町民 独占インタビュー Vol.1



新入生を増やし、
遠農高を盛り上げて

遠別農業高等学校3年
大木ひかりさん
出身地 東京都目黒区
(出身中学 目黒区立第九中学校)

◎遠別町の住民をピックアップし、まちの印象や、行政、議会に対する思いなどをインタビューし、議会活動に役立ていきます。



中学生の時に祖母が家庭菜園をやっているのを見て、農業に興味を持ち、自然が豊かな北海道の大地で農業を学びたいという思いがあった。遠別町へふるさと納税をし、遠別農業高校の返礼品が送られたことをきっかけに、親元を離れ、遠別農業高等学校へ入学した。これまでの高校生活の思い出は「きらり、小学生、中学生との交流や、遠農マルシェに多くの人に来てくれたこと」、将来は「語学を学び、海外の農業先進国へ行って、更に農業を知り、日本で実践したい」、遠別町の印象は「町民の皆さんと交流する機会が多くありましたが、関わった方々、みんなが優しくかった。皆さんのおかげで有意義な高校生活を送れました。遠別に來られて本当に良かった。遠別町での日々はかけがえのない経験になった」と笑顔で語る大木さん。最後に遠別町への要望を聞くと「遠別農業高校の入学者数を地元の人も含めて、もっと増やし、高校を盛り上げてほしい」とのこと。これから語学を学び、豊富な農業の知識を得て、是非、遠別町に戻ってきて「えんべつの農業」を引っ張ってもらいたいものである。(文責 小森委員長)

あとがき (山下副委員長)

去る7月31日に「遠別町ゆかりの地との児童交流事業」のお別れのつどいに参加した。遠別小学校・福井県越前市神山小学校の子ども達の交流の様子を見てみると、とても有意義な時間を過ごせたのではないかと感じた。小学校5、6年生対象で、6年生は最後の交流になってしまう。遠別・神山小学校両校長先生とお話しをしたところ、インターネットを利用した遠隔交流を検討しているとのこと。私も協力し、この事業のさらなる発展に貢献したい。

議会報発行特別委員会

委員長	小森 嘉孝
副委員長	山下 悟
委員	白井 金治